

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度第二回全国幹事会議事録

平成 28 年 9 月 1 日

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度 第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 28 年 9 月 1 日(木曜日)10 時 30 分～11 時 30 分

開催場所：神戸国際会議場 第 7 会場（5階503号室）

出席者：登 勉 会長，東條 尚子 副会長，本田 孝行 副会長

木村 聡，佐藤 麻子，土屋 達行，古川 泰司，宮崎 彩子，米川 修，

三宅 一徳 各常任幹事

紀野 修一，五十嵐 雅彦，久川 聡，松下 一之，浅井 さとみ，増田 亜希子，

×谷 直人，日高 洋，中村 文彦，横崎 典哉，長井 篤，橋口 照人，各全国幹事，

高木 康，佐守 友博 各監事

欠席者：盛田 俊介 常任幹事，

萱場 広之，上原 由紀，村田 哲也，和田 隆志，大澤 春彦，柳原 克紀各全国幹事

事務局：市川 綾子

（敬称略）

定刻，登勉会長挨拶の後，議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第1号議案 議事録署名人選任について

議長は，本会の議事録署名人の選出を議場に諮り，下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：浅井 さとみ 全国幹事，松下 一之 全国幹事

第2号議案 名誉会員・有功会員の推薦について

議長は，名誉会員・有功会員の推薦について，資格審査・会則改定委員会 土屋達行委員長に説明させた。土屋委員長より，名誉会員候補者 4 名，有効会員候補者 10 名について資格審査・会則改定委員会で審査を行い，全員について承認を得たことが報告された。しかし，推薦には直近3年の会費を納入していることという内規があり，事務局より未納者に確認をおこなったが，現時点で名誉会員候補者1名，有効会員候補者1名の納入が確認できていないことが報告された。なお，三宅一徳庶務・会計幹事より，候補者は 2017 年1月 1 日付けで満 70 歳となる会員であるが，本年度については過去の推薦に漏れていた会員が含まれることが報告された。

審議の結果，今回は未納者を除く名誉会員3名，有効会員9名について候補者として総会に推薦することとし，2名については納入が確認できた時点で資格審査・会則改定委員会での審査通り名誉・有効会員として推薦することに決した。なお本年度の候補者は以下の 12 名である。

<名誉会員>

影岡 武士 先生, 熊谷 俊一 先生, 渡辺伸一郎 先生

<有功会員>

明石 實次 先生, 遠藤 久子 先生, 大林 民典 先生

海津 省二 先生, 金城 満 先生, 鈴木 豊 先生

中嶋 安彬 先生, 新谷 憲治 先生, 吉田 治義 先生

登会長より、本会では初期の名誉会員の一部のみ会費免除となっており、現在はいずれも会費を納入していただいているが、今後名誉・有効会員を会費免除とした場合について資格審査・会則改定委員会で検討いただきたいとの指示があった。

第3号議案 平成 29 年度予算案について

議長は、平成 29 年度予算案について、その詳細を資料1(章末に添付)に基づいて三宅一徳庶務・会計幹事に説明させた。三宅幹事より平成 29 年度予算案は本年とほぼ同様の予算立てとしているが、事業経費でネットワーク維持費 180,000 円、広報活動費として 100,000 円を新たに計上し、予備費 425,000 円を含んで収支0の予定であることが報告された。審議の結果の結果、異議なく承認された。

第4号議案 その他

1) 広報活動としての「LINE スタンプ」導入提案について

議長は、木村聡委員長に、現在広報委員会で検討されている「りんしょう犬さん」のLINEスタンプについて説明を求め、その導入について議場に諮った。

木村聡委員長から以下の説明があった。

以前、「りんしょう犬さん」の著作権を持っている大阪の会社(大成)にLINEスタンプ作成の見積もりを出してもらい、臨床検査振興協議会で検討してもらったことがある。当時は審議委員会の先生方はほとんどLINEを使用していなかったので話は進展しなかった。LINEは今、日本では3千万人以上の利用者があり、特に若い世代で使われており、コミュニケーションツールになる。若者には「りんしょう犬さん」のスタンプから臨床検査に興味を持ってもらうこともできるのではないかと思う。難点は、LINEの会社に42点の絵を用意する必要があり、その後承認を経て登録されるという手続きを踏む必要があること。大成によると、47万(スタンプ作成料@5,000円×47、審査手続き請負料、年間維持管理費、消費税)の費用見積もりになっている。専門医会として、「LINEスタンプが宣伝効果があり、おすすめである」と、振興協議会に提案したいとの説明があった。

審議の結果、木村委員長に臨床検査振興協議会の広報出版委員会(委員長 佐守 友博 本会監事)委員に就任いただき、当該委員会の議を経て、振興協議会理事会に提案することに決した。

2)平成 31 年度第 29 回春季大会について

登会長より、第 29 回(平成 31 年)の春季大会大会長として横崎 典哉全国幹事が推薦され、満場一致で承認された。

横崎 典哉全国幹事より第 28 回に準じて5月の第2週週末に、広島駅付近を会場に予定したいとの発言があった。

[報告事項]

1. 平成 28 年度中間会計報告

三宅 一徳庶務・会計幹事より平成 28 年度中間会計について資料2(章末に添付)に基づき説明があった。収入の部では会員会費、賛助会員会費・寄付金について予算を下回っており、継続して納入を促す。支出の部ではほぼ予定通りあることが報告された。

2. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

盛田 俊介委員長に代わり三宅 一徳庶務・会計幹事から、盛田委員長の報告資料に基づき、以下の報告があった。

- 1)Lab CP は信岡先生に編集を担当いただき 34 巻 1 号は春季大会の「病院経営を支える臨床検査」を主体にし、その他特集として臨床検査の卒後教育、Reversed CPC 等の予定で入稿待ちである。次号 34 巻 2 号は今回の学術会議の共催シンポジウム「検査データの読み方～熟年専門医と新人専門医による日常検査の読み方講座」を特集し、その他に臨床検査の卒前教育、Reversed CPC 等の予定である。
- 2)日本衛生検査所協会の協会誌ラボの専門医が教える検査値異常の判断という特集を福地先生に担当いただき、2017 年3月までの予定が決定している。さらに 2017 年 4 月からの同様の企画の継続依頼が来ている。
- 3)JACLaP NEWSは増田先生に担当いただき128号まで発行済み。増田先生からは次年度以降委員・編集主幹の交代の希望が出ており、委員会で検討予定。
- 4)JACLaP WIRE は盛田先生担当、定期号が4号、その他臨時増刊号3号が発行済み。

増田亜希子全国幹事より継続して JCALaP NEWS 編集主幹を担当してきたが、交替に際し原稿依頼を事務局にお願いする等業務の整理をして、誰が担当しても運用しやすいようにして後任に引き継ぎたいとの発言があった。

②教育研修委員会

米川 修委員長より以下の報告があった。

- 1)第85回教育セミナーを5月22日慶應大学で開催した。本年度は実技のデモンストレーション

は実施せず、実技手技を収録した DVD を配布した。また、昨年度の合格者3名に合格体験記を講演いただいた。次年度以降も同様の形式で実施予定であり、今回は帝京大学 古川泰司常任幹事に会場をお願いしている。なお、本年は乳児連れの参加者がおり、授乳室の希望があった。今後会の発展のためにはこのような対応が必要となり、次回についてもナースingleルームの準備も併せてお願いしている。

- 2) 神戸学術集会で学会との共催シンポジウムとして「新人専門医がいどむ“検査データの読み方”～“熟年専門医”と“新人専門医”による日常検査の読み方講座」というテーマで昨年合格した専門医の方5名をお願いしており、これがうまくいけば毎年合格者の方に回答者になっていただくようにしたい。以前高木先生から指摘されていたこともあるが、若手の方に講師になっていただくことも考えていきたい。
- 3) 平成 29 年春季大会では生涯教育講演会として専門医更新に関する講習を2つ予定している。(以下)

生涯教育講演会 司会: 本田 孝行(信州大学医学部病態解析診断学)

米川 修(聖隷福祉事業団聖隷浜松病院臨床検査科)

1. 血合併症の予防と対応のポイント

大西 宏明(杏林大学医学部臨床検査医学教室)

2. 病理診断部門におけるセイフティーマネジメント

堤 寛(藤田保健衛生大学医学部病理学)

その他、教育研修委員会としては、今後、若手の勧誘というねらいをもってデータを読むようなイベントをやっていかなければと思っている。臨床検査医学会の教育委員会の本田委員長とも相談していくが、実行するとなると場所と講師の選定が難題である、旨の発言があった。

③資格審査・会則改定委員会

土屋 達行委員長により以下の報告があった。

- ・1月1日以降の入会者は32名、退会者は14名
- ・入会申込み者に関しては委員による持ち回り審査ですべて入会していただいている。
- ・日本専門医機構による専門医認定制度が 2018 年から開始される予定である。それに伴って専門医会の会則もある程度改正しなければならない。9 月 3 日の委員会で機構専門医実施後の扱いを検討する予定。具体的には機構専門医を取得しない専門医をどのようにするのか、また専門医の扱い(まだ専門医をとっていない方)、70 歳以上で名誉会員でも有功会員でもない方の扱いなどの検討を予定する。

本報告について名誉会員・有効会員の会費の今後の取扱いについて検討いただきたいとの発言があった。また、登会長より厚労省からは広告可能な専門医の基準として、①学会が法人化されていること、②1000名以上、③学会員の8割が医師、との要件が示されており、日本臨床検査医学会は③要件に該当しないため臨床検査専門医は公告できない専門医となる。現在、臨床検査専門医会は臨床検査医学会と合同で審議会方式にて臨床検査専門

医を認定しているが、今後専門医会を法人化し、会員数を1000人に増やしていくべきなのか、そのあたりを明確にすれば厚労省の広告要件のクリアもできるのではないかと考えている。この点も踏まえて資格審査・会則改定委員会での議論をお願いしたい、との発言があった。

④広報委員会

木村 聡委員長より以下の報告があった。

- 1) 専門医の獲得 羊土社「レジデントノート」に五十嵐岳先生にプロジェクトリーダーになっていただき来年4月から連載を出す予定。
- 2) 現在本会ホームページに「ぼくらは臨床検査専門医」というサイトがあるが、更に充実した内容にするために検査医の日常を紹介するホームページを外部に作ってリンクさせる予定。増田亜希子全国幹事に協力いただき、業者選定し年間 27,000 円でサーバーのレンタル契約を締結した。千葉泰彦先生に中心になっていただいて、これからコンテンツを揃えて行く予定。内容についてはこれから委員会でも討議するが臨床検査医の仕事の面白さを伝えていきたい。
- 3) 女性医師、セカンドキャリアとしてやっていらっしゃる方に広げていきたい。
9月4日には当会教育研修委委員会と学会の委員会(教育委員会、ワークライフバランス委員会)の合同でワークショップ「臨床検査専門医のワークライフバランス」を開催する。こういう場で演題発表するとなると仕事を休んで学会にも参加できる。今回のワークショップのような子育てとの両立を考えていく場があってもよいのではないか。

⑤渉外委員会

東條尚子委員長より以下の報告があった。

7月15日に東京ガーデンパレスで振興セミナーを開催した。今年は診療報酬改定の年にあたり厚労省から1名と本会から佐藤尚武先生に検査に関する診療報酬改定について講演いただいた。90名を超える参加があり、本年度は専門医更新講習として登録したので専門医の参加が30名程と例年より多かった。来年度も7月21日(金曜日)に東京ガーデンパレスで開催する予定であり、内容については9月3日の委員会で検討することが報告された。

登会長より厚労省演者がセミナー直前に交代となりあわただしかったが、演者の小倉先生は自身の講演終了後も最後まで会場に残って話を聞いて行かれたことが報告された。

⑥保険点数委員会

古川 泰司委員長より以下の報告があった。

明日、臨床検査医学会の保険点数委員会と合同の委員会が開かれる。これに先立って学会の会員アンケートを集計しており、現段階で未掲載の案件が9件、既掲載の増点等の案件が42件寄せられており明日の委員会で審議する。42件のうち1つだけ重複があった

ので未掲載・既掲載合計で 50 件。臨床検査医学会と専門医会からの提案として順位をつけて提出していくことになる。第 2 回の合同委員会をできれば 11 月下旬に開き、その前後に各学会からの提案を順位付けして内保連に提出予定である。

⑦ネットワーク運営委員会

宮崎 彩子委員長より以下の報告があった。

4 月に Q&A のシステムが開始になったがあまり活発に Q が出ている状況ではない。このあと委員会で対策を練りたい。ページの充実のために、専門医の更新の時に使えるように学会の参加記録等をわかりやすく記録できるように改良していきたいと思っている。

3. 全国検査と健康展報告

佐藤 麻子常任幹事より以下のような報告があった。

日本臨床衛生検査技師会主催による「全国検査と健康展」は、本年は奈良が中央会場で、登会長が遺伝子検査について講演される予定である。本年も例年同様 21 会場で健康相談の協力を行う予定であり、まず幹事の先生方にご協力をお願いし、全体の 1/3 弱程度の予定が決定した。これから会員の先生方に参加協力を募る。なお、本年から参加証を発行予定であることが報告された。

4. 第 27 回(平成 29 年度)春季大会

ㄨ谷 直人全国幹事より、第 27 回(平成 29 年度)春季大会は下記の予定で開催されることが報告された。

大会長: ㄨ谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院)

会 期: 2017 年 2 月 24 日(金), 25 日(土)

会 場: ホテルリゾーピア熱海(静岡県熱海市)

メインテーマ「臨床検査専門医のアイデンティティー」

第 1 日 2 月 24 日(金)

・13:30~15:30 生涯教育講演会[主催: 日本臨床検査専門医会](前掲)

・15:35~16:35 特別講演

司会 ㄨ谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院検査部)

「臨床検査室の精度管理の仕方—品質保証のプロセス管理—」

大野 紘宇(株式会社 CGI)

・16:40~17:55 全国幹事会

・18:00~20:00 懇親会, ・20:00~ 二次会

第 2 日 2 月 25 日(土)

・9:00~9:05 開会挨拶 ㄨ谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院検査部)

・9:05～11:05 パネルディスカッション

「望まれる臨床検査専門医とは」

司会 芝 紀代子(文京学院大学名誉教授)

東條 尚子(東京都教職員互助会三楽病院臨床検査科)

看護師の立場から

松月 みどり(愛知医科大学看護学部看護学科)

薬剤師の立場から

山田 成樹(藤田保健衛生大学医学部臨床薬剤科)

臨床検査技師の立場から

横山 一紀(一般社団法人神奈川県臨床衛生検査技師会)

臨床検査教育の教員の立場から

三村 邦裕(千葉科学大学危機管理学部医療危機管理学科)

・11:15～12:00 総会

・12:10～13:00 ランチョンセミナー [共催:栄研化学株式会社]

司会 谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院検査部)

「POCTの歴史と今後の展望」

菊池 春人(慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

・13:10～15:20 ワークショップ

「理事長(会長)を務める臨床検査専門医が語るアイデンティティとハーモニー」

司会 水口 國雄(公益社団法人日本臨床検査同学院理事長)

宮地 勇人(公益社団法人日本臨床検査同学院副理事長)

一般社団法人日本臨床検査医学会理事長の立場から

矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

一般社団法人日本臨床検査自動化学会理事長の立場から

康 東天(九州大学大学院医学研究院臨床検査医学)

一般社団法人日本臨床化学会理事長の立場から

前川 真人(浜松医科大学医学部臨床検査医学)

一般社団法人日本検査血液学会理事長の立場から

通山 薫(川崎医科大学検査診断学教室)

日本臨床検査専門医会会長の立場から

登 勉(医療法人社団主体会小山田記念温泉病院)

5. 第28回(平成30年度)春季大会

本田 孝行副会長より、第28回(平成30年度)春季大会について以下の報告があった。

日程は平成 30 年 5 月 11 日(金), 12 日(土)を予定, 会場は大学にするか, 駅に近いところにするか, 懇親会会場も含め検討中である。内容等で要望があれば提案いただきたいとの依頼があった。

6. 臨床検査専門医・管理医審議会

三宅 一徳庶務・会計幹事より以下の報告があった。

・臨床検査専門医・管理医審議会は 6 月と 8 月にそれぞれ第 1 回, 第 2 回の審議会が開催された。第 1 回の審議会では, 第 33 回臨床検査専門医受験者資格審査, 研修施設・指導者認定, 第 8 回臨床検査管理医認定試験(10/2 実施予定), 新専門医制度について等審議・報告があった, 新専門医制度についてはこの時点でも再検討の状況であった, と報告された。

第 2 回の審議会では,

・第 33 回臨床検査専門医認定試験について 2016 年 7 月 23-24 日に杏林大学で実施され, 試験概要, 合否判定会議の概略が報告され, その内容が承認された。受験者は 31 名(新規受験者 30 名, 科目再受験者 1 名)。合否発表は 9 月 17 日の予定。

・日本専門医機構新体制の現状の報告があり, 2017 年度は, 新制度による研修は延期し, 2018 年度から一斉スタートを目指す, との方針を受け, 臨床検査医学会では, 新制度は 2017 年度開始を見送り, 2018 年度開始を目指す

・機構専門医用講習単位の学会専門医用単位への流用について審議され, 1 単位を 1 単位として認定することが承認された。リスクマネージメントは学会用 5 単位を認めるが, ダブルカウントはしない

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので, 議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 29 年 1 月 4 日

浅井 さとみ

平成 29 年 1 月 10 日

松下 一之

平成29年度予算案

		項目	平成28年度予算	平成29年度予算案	
収入欄	入金	会員会費	6,475,000	6,590,000	
		賛助会員会費・寄付金	4,000,000	3,700,000	
		小計	10,475,000	10,290,000	
	その他	広告収入	200,000	400,000	
		教育セミナー参加費	350,000	400,000	
		生涯教育講演会参加費	100,000	150,000	
		振興セミナー参加費	100,000	100,000	
		利息	5,000	5,000	
		小計	755,000	1,055,000	
	入金合計		11,230,000	11,345,000	
支出欄	庶務経費	事務局雑費	150,000	150,000	
		通信費(事務局)	170,000	170,000	
		人件費	1,500,000	1,500,000	
		FAX使用料	60,000	60,000	
		事務所維持費	1,700,000	1,700,000	
		設備費	150,000	150,000	
		小計	3,730,000	3,730,000	
	事業経費	印刷代	2,000,000	2,000,000	
		要覧印刷代	550,000	0	
		通信費	800,000	800,000	
		春季大会補助金	500,000	500,000	
		臨床検査振興セミナー費	950,000	900,000	
		教育セミナー費	750,000	700,000	
		会議費	1,000,000	1,000,000	
		交通費	70,000	100,000	
		宿泊費	20,000	30,000	
		原稿料	100,000	100,000	
		専門医ネットワーク開発費	864,000	0	
		専門医ネットワーク維持費	0	180,000	
		HP維持費	170,000	170,000	
		広報活動費(委員会HP)	-	100,000	
		JCCLS会費	50,000	50,000	
		WASPALM会費	60,000	60,000	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	
		内保連	200,000	200,000	
		予備費	0	425,000	
		小計	8,384,000	7,615,000	
		出金合計		12,114,000	11,345,000
		収支決算		-884,000	0

平成28年度中間決算報告（平成28年1月1日～8月22日）

27年	項目	平成28年度予算額	中間決算額	予算と決算の差
収入欄	会費			
	会員会費	6,475,000	5,270,000	-1,205,000
	賛助会員会費・寄付金	4,000,000	3,200,000	-800,000
	小計	10,475,000	8,470,000	-2,005,000
	その他			
	広告収入	200,000	420,430	220,430
	教育セミナー参加費	350,000	470,000	120,000
	生涯教育講演会参加費	100,000	172,000	72,000
	振興セミナー参加費	100,000	140,000	40,000
	利息	5,000	2,327	-2,673
	小計	755,000	1,204,757	449,757
	入金合計	11,230,000	9,674,757	-1,555,243
	支出欄	庶務		
事務局雑費		150,000	106,246	43,754
通信費（事務局）		170,000	111,167	58,833
人件費		1,500,000	1,039,830	460,170
FAX使用料		60,000	37,212	22,788
事務所維持費		1,700,000	1,155,930	544,070
設備費		150,000	0	150,000
小計		3,730,000	2,450,385	1,279,615
事業				
印刷代		2,000,000	1,001,216	998,784
要覧印刷代		550,000	551,880	-1,880
通信費		800,000	477,701	322,299
春季大会補助金		500,000	0	500,000
臨床検査振興セミナー費		950,000	798,253	151,747
教育セミナー費		750,000	558,620	191,380
会議費		1,000,000	415,835	584,165
交通費		70,000	67,490	2,510
宿泊費		20,000	17,000	3,000
原稿料		100,000	0	100,000
専門医会ネットワーク開発費		864,000	858,060	5,940
専門医会ネットワーク維持費		0	0	0
HP維持費		170,000	37,620	132,380
JCCLS会費		50,000	50,000	0
WASPALM会費		60,000	51,692	8,308
臨床検査振興協議会		300,000	300,000	0
内保連		200,000	0	200,000
予備費		0	0	0
小計		8,384,000	5,185,367	3,198,633
出金合計		12,114,000	7,635,752	4,478,248
収支決算		-884,000	2,039,005	2,923,005